

「できたよ」

水あそびの準備をしている4歳児のイクくんは、シャツが脱げなくて四苦八苦していました。



イクくんが「あわてず」に服を脱げるよう、服の持ち方や脱ぎ方を知らせます。



周りの友だちの、着脱や衣服の始末を自分でやろうとしている姿がイクくんにとって大きな刺激となりました。



水あそびの回を重ねていくうちに自分で出来ることが増えてきたイクくんのうれしそうな表情が見られるようになってきました。



「できた!」

プールで「顔に水が」かかりそうになると思わず顔をそむけてしまう5歳児のJくん。



そこで、「水面すれすれの戸に」保育士の手の平を出してみました。



そして、Jくんが「頭をすっぽり」水の中に入れることが出来たとき、周りでも応援していたクラスの子ともたちが、大きな拍手を送ってくれました。



その後、Jくんは自分からもぐりこやワニ歩きに挑戦するようになってきました。出来るようになったことを、自分のことのように喜んでくれる友だちの存在が大きな支えになっていることを感じさせられる出来事でした。